

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

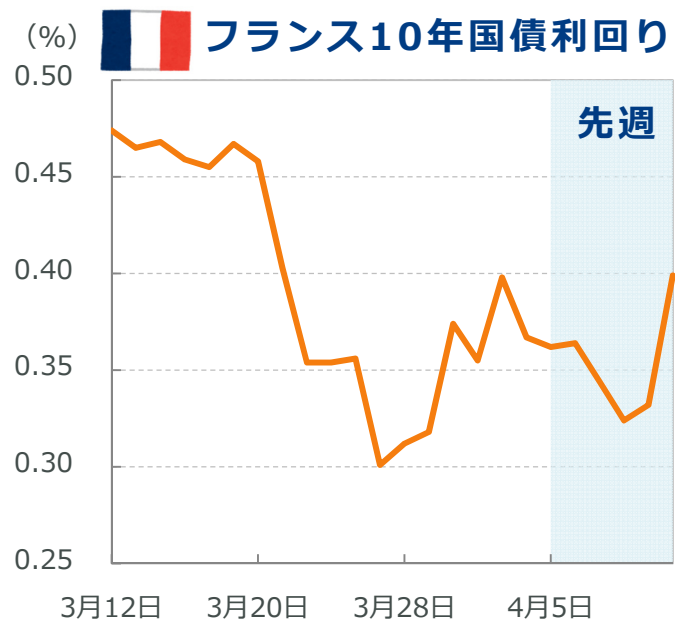
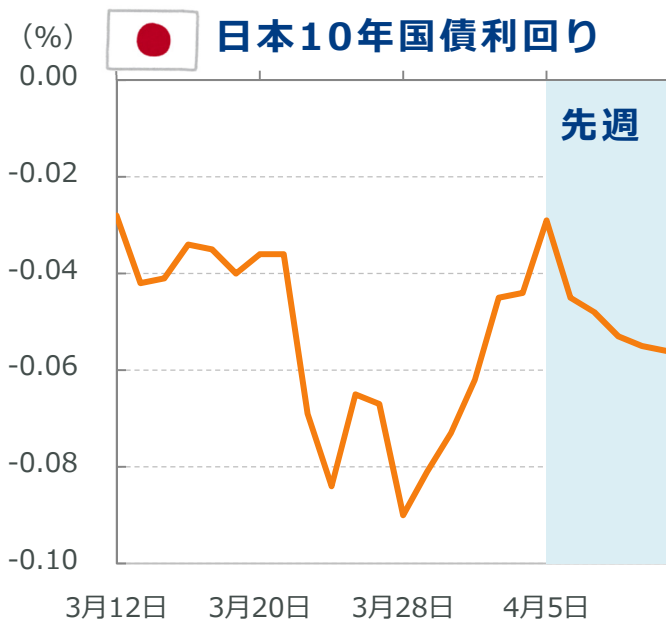
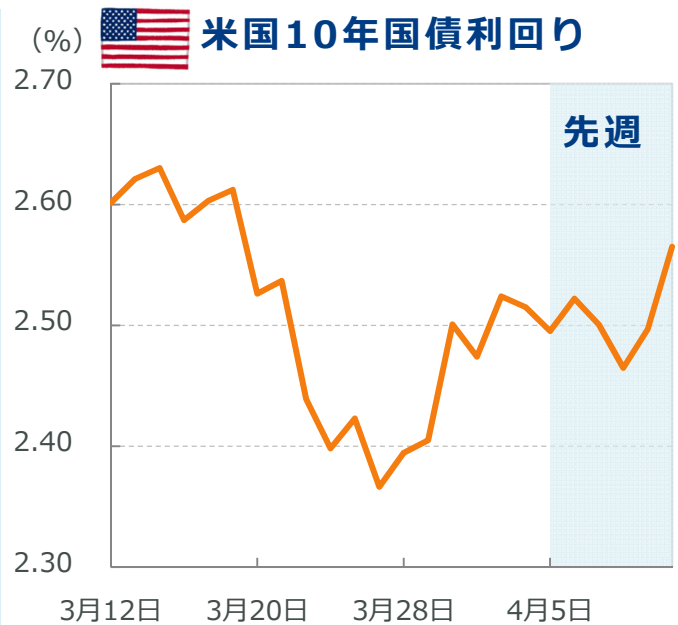
POINT 先進国国債利回り

※データ期間は2019年3月12日から2019年4月12日（日次）

【2019年4月8日～2019年4月12日】

欧米国債利回りは上昇

- ◆IMF（国際通貨基金）による世界経済見通しの引き下げやECB（欧州中央銀行）総裁によるユーロ圏経済の下振れリスクへの言及などを背景に、週前半の先進国国債は買いが進みました（利回りは低下）。
- ◆その後、米国経済指標の改善を受けて米国株相場が上昇、米国債は売りが進んだことを受けて欧州債相場も連れ安となり、欧米国債利回りは週間で上昇しました。



出所：Bloomberg 1/2

■当資料は情報提供を目的として三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

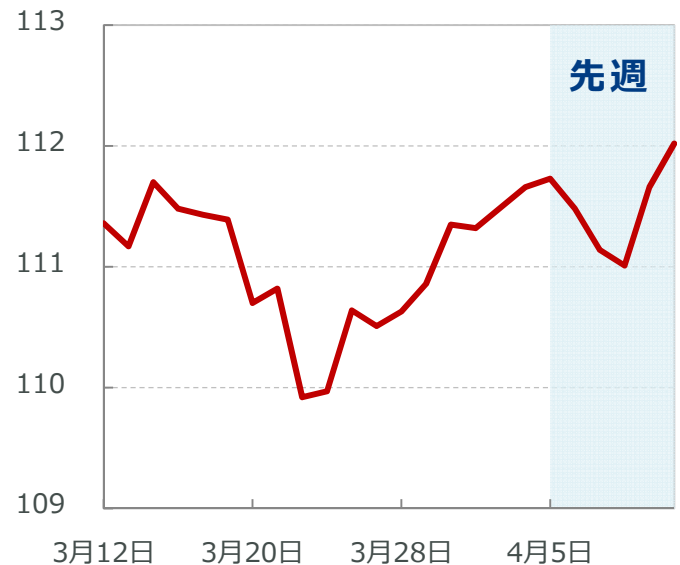
※データ期間は2019年3月12日から2019年4月12日（日次）

【2019年4月8日～2019年4月12日】

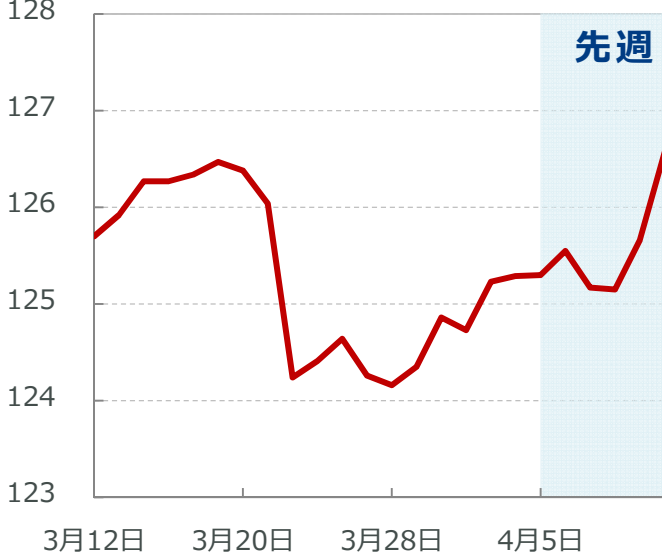
円安の地合い続く

- ◆米経済指標の改善や米長期金利の上昇、米株高などを背景に米ドル高・円安の地合いが続きしました。中国の3月貿易統計で輸出額が市場予想を上回ったことも投資家のリスクセンチメントを支え、円安要因となりました。
- ◆英国のEU離脱期限が10月末まで再延長されたことを受けて「合意なき離脱」が当面回避されるとの見方が広がり、円は対ユーロで大きく売られました。

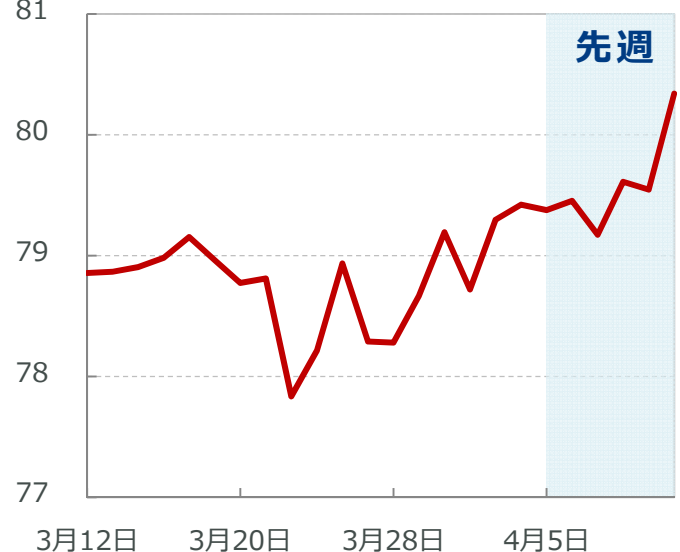
(円)  **米ドル円**



(円)  **ユーロ円**



(円)  **豪ドル円**



出所：Bloomberg 2/2

■当資料は情報提供を目的として三井住友DSアセットマネジメントが作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。